

住宅における防犯対策について ～建物内で犯罪被害に遭わないために～

第 28 回 日本防犯設備協会 特別セミナー

日時

2026年10月16日(金)
13:00～16:40

場所

TKP 赤坂カンファレンスセンター ホール 13D
〒107-6190 東京都港区赤坂 5-2-20
赤坂パークビル 13 階

後援 警察庁、国土交通省、東京都(順不同)

■ 本特別セミナーは、公益財団法人日工組社会安全研究財団の助成により開催するものです。

■ 講演概要

近年の犯罪情勢を踏まえ、共同住宅、戸建て住宅の防犯対策について再考します。とりわけ、闇バイトを悪用した匿名・流動型犯罪組織等による強引な手口による強盗の発生、さらに共同住宅においてストーカーや性加害目的で建物内に侵入するケースが跡を絶たないことも踏まえ、防犯カメラなどの防犯設備の活用の在り方や CP 建物部品の有効性等を再認識するとともに、居住者、管理者、設計・施工者、設備事業者等の観点から、犯罪抑止や被害に遭わないための基本的考え方や、対応の基本方針について講演を行います。

住宅における犯罪被害防止、犯罪に強い環境づくりには是非お役立てください。

■ 参加費：無 料

■ 参加のお申込み方法 (先着 108 名様)

受講希望の方は、特別セミナー申込 URL (下記) よりお申し込みをお願いします。

申込期間：8月20日(木)～10月13日(火)

特別セミナー申込 URL

URL : https://www.ssaj.or.jp/entry/schedule.php?evt_kind_id=3000



■ 受講票について

お申込時に登録されたメールアドレスに受講票を送付いたしますので、印刷して当日受付に持参をお願いします。なお、受講票を受信できない場合は、下記へご連絡願います。

13:00～13:05	協会からのご挨拶
13:05～13:35	講演 1. 「最近の犯罪情勢について」 警察庁生活安全局生活安全企画課 課長補佐 青柳 敏之 氏
13:35～14:35	講演 2. 「まちを見守るプロになる」 日本大学理工学部まちづくり工学科 教授 田中 賢 氏
14:35～14:45	休憩
14:45～16:30	講演 3. 「犯罪に強い住宅について」 (株)青山設計 一級建築士 総合防犯設備士 青山 功 氏 バスコム(株) 総合防犯設備士 小林 道治 氏 日本防犯設備協会特別講師 総合防犯設備士 瀬澤 外茂幸 氏
16:30～16:40	質疑応答

■ 電話：03-3431-7301 Eメール：yukiteru.kato@ssaj.or.jp

会場案内図

<TKP 赤坂カンファレンスセンター ホール 13D>

〒107-6190 東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 13 階

<交通のご案内>

■ 東京メトロ千代田線 赤坂駅 3b 出口 徒歩 5 分

■ 東京メトロ銀座線 赤坂見附駅 10 番出口 徒歩 9 分

アクセス情報

URL : <https://www.kashikaigishitsu.net/facilitys/cc-akasaka/access/>



講演内容



講演 1. : 13:05～13:35

『最近の犯罪情勢について』

警察庁生活安全局生活安全企画課 課長補佐

青柳 敏之 氏

講演概要

近年、いわゆる「闇バイト」による強盗事件をはじめとする住宅を対象とした犯罪の発生や不審な訪問など、住宅を取り巻く犯罪情勢は大きく変化しています。本講話では、住宅対象強盗事件に関する実務分析や現場における知見を踏まえ、犯行の特徴や侵入手口、狙われやすい住宅の傾向、防犯カメラやC P 部品等の防犯設備の重要性について解説します。また、盗撮事犯や不審な訪問・マーキングの実態にも触れ、犯罪の未然防止に向けた留意点や、防犯設備の整備・普及に期待される役割について考察します。犯罪情勢の変化を踏まえた効果的な防犯対策を推進するための一助となることを目的とした内容です。

青柳 敏之（あおやぎ としゆき）

警察庁生活安全局生活安全企画課 課長補佐

2000 年 10 月 佐賀県巡査拝命

2020 年 3 月 佐賀南警察署 生活安全課長

2022 年 3 月 総務課 次席

2023 年 3 月 生活安全企画課 安全安心まちづくり推進室長

2025 年 3 月 警察庁出向（生活安全局生活安全企画課課長補佐）

警察庁の生活安全企画課は、日本の警察機関において、生活の安全を確保するための政策や施策を企画・立案・推進する部門です。この課は、犯罪の予防や防止、地域の安全対策、さらには市民の生活の質を向上させるための取組を行っています。全国の警察と連携しながら、様々な施策を展開し、国民の安全と安心を守る役割を担っています。

講演内容



講演 2 : 13:35～14:35

『まちを見守るプロになる』

日本大学理工学部まちづくり工学科 教授 博士（工学）
一級建築士

田中 賢 氏

講演概要

「防犯まちづくり」は全国一律同様に行うものではありません。地域コミュニティの状況に応じて柔軟に行うべきです。犯罪に遭わないためには、「我が家」だけを考えるはいけません。最小単位では、自分や家族、我が家を中心とした「向こう三軒両隣」で安全を考えます。ここでは防犯環境設計が基本となります。そして拡大して、従前の防犯パトロール活動に加え、防犯と美化活動の連携、学校やコミュニティ施設での見守り活動など「地域が持つ防犯・防災資源」を活用して考えます。現在は、防犯に関連した様々な指針や認定制度があります。それらを踏まえつつ、住まい手のニーズに合致した防犯を提案しましょう。

田中 賢（たなか やすし）

日本大学理工学部まちづくり工学科 教授 博士（工学）
一級建築士

- ・ 1987 年 住宅メーカー総合住宅研究所でユニバーサルデザイン・防犯環境設計など安全・安心の研究開発を行う。
- ・ 2004 年 日本福祉大学 健康科学部 准教授
- ・ 2006 年～2007 年 日本女子大学 市民安全研究センター 客員研究員
- ・ 2016 年～現在 日本大学 理工学部 まちづくり工学科 教授

日本建築学会・ユーザオリエンティドデザイン小委員会幹事・計画基礎運営委員会委員、日本福祉のまちづくり学会・関東甲信越支部副支部長などを歴任し、また企業との研究開発などを行っています。

講演内容

講演3：14:45～16:30

『犯罪に強い住宅について』



青山 功 氏



小林 道治 氏



瀬澤 外茂幸 氏

株式会社青山設計

バスコム株式会社

日本防犯設備協会 特別講師

青山 功 氏

小林 道治 氏

瀬澤 外茂幸 氏

講演概要

3名の総合防犯設備士による講演です。

講演3-1 青山 功 氏

設計の観点から、共同住宅の設計の考え方やCP部品や防犯カメラ等防犯設備の活用例を見ていただきながら、東京優良防犯マンション等認定制度のご紹介と、現在の防犯サッシには防火設備の認定がないため、防火設備における防犯対策について説明してまいります。

1. 4つの基本原則（1. 領域の強化 2. 接近の制御 3. 監視性の確保 4. 対象物の強化）をどのように設計に反映させていくか。具体例を見ながら説明してまいります。
2. 防火設備の防犯対策
3. 防犯優良マンションのスライドショー

講演3-2 小林 道治 氏

－防犯優良住宅認定制度について－

昨今匿名・流動型犯罪グループの関与が認められる闇バイト強盗事件が多発したことなど、市民の間で身近な「安全安心」への不安が増大しており、防犯性能の高い住宅は、住まい選びのキーファクターとして今後ますます優先順位が高くなっていくことが考えられます。このようなニーズに応えるため、日本防犯設備協会では、平成18年より関係機関・団体と連携し、防犯性能の高い住宅を一定の基準で認定する「防犯優良住宅認定制度」を運用しています。

この制度は、「警察庁安全・安心まちづくり推進要綱」をベースに、それぞれの地域の実情に合わせた基準とし、防犯設備士・総合防犯設備士が、防犯カメラや建物本体だけでなく、周辺環境など総合的に精査して認定をしているもので、今回は、各地域で運用されている制度の紹介及び日本防犯設備協会防犯優良住宅認定制度分科会の取り組みについて解説いたします。

1. 警察庁安全・安心まちづくり推進要綱について
2. 防犯優良住宅認定制度について
3. 防犯優良住宅認定制度分科会の今後の取り組みについて

講演 3-3 瀬澤 外茂幸 氏

従来の侵入盗の不安に加え、昨今はトクリュウによるものと思われる強引な手口による強盗事犯が多発し、国民の体感治安が悪化しているように感じます。

警察庁の統計資料には犯罪認知件数は 19 年連続減少から一転し、近年は増加傾向が明確に表れていることが読み取れます。

このような環境の中、どのように住宅の防犯性能を引き上げるべきか、新築の場合の要点だけではなく既築住宅のリフォームによる防犯力強化などハード面の事例とソフト面でもできることも参加者の皆様と考えていきます。

青山 功（あおやま いさお）

株式会社青山設計 代表、 一級建築士、 総合防犯設備士
警視庁 建物防犯協力員防犯アドバイザー
公益財団法人東京防犯協会連合会 防犯優良マンション等登録制度審査員
NPO 東京都セキュリティ促進協力会 東京優良防犯賃貸住宅 審査員
公益財団法人日本防犯協会 委員会委員

小林 道治（こばやし みちはる）

バスコム株式会社 代表取締役、 総合防犯設備士
公益社団法人日本防犯設備協会 総合防犯設備士委員会
防犯優良住宅認定制度分科会 主査
一般社団法人京都府防犯設備協会 副会長 防犯アドバイザー

瀬澤 外茂幸（せざわ ともゆき）

日本防犯設備協会 特別講師、 総合防犯設備士

- ・昭和 59 年 4 月 高千穂交易株式会社入社
(セキュリティシステム事業本部 令和 3 年 定年退職)
- ・平成 12 年 4 月より IEC TC106 国内委員会委員等を歴任し、約 20 年間、国際標準化活動に従事。
- ・平成 13 年 4 月 BSS マーク制度調査特別委員会委員長、10 月に BSS マーク制度委員会委員長
- ・平成 14 年 6 月 NPO 東京都セキュリティ促進協力会（警視庁所管）理事、令和 6 年より副理事長
- ・平成 16 年 4 月 日本 EAS 機器協議会（現 JEAS）事務局長
(平成 18 年 6 月退任)
- ・平成 16 年 10 月 東京防犯優良マンション・駐車場登録制度の審査基準を策定し、同制度審査委員
- ・令和 2 年 6 月 警察庁長官、日防設会長の連名表彰受賞
- ・令和 6 年 2 月より在外公館のセキュリティに関する業務に従事